

1月号

信じてみよう「今年はいいことがあるそうだ」

校長 桐ヶ谷 淳子

学 校
だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

令和5年が始まりました。元日の新聞にはいろいろな企業の広告が載っています。広告料はどのくらいだろうなどと、つまらないことを考えつつも私はこれらを見るのが楽しみです。2面にわたり企業のトピックを並べる自動車メーカーや、駅伝の選手の姿と学校の抱負を掲げる広告などそれぞれ工夫が凝らされています。私が今年一番気に入ったのは、大手出版社のものです。

紙面には学習機のそばで床に寝転がるのび太君の絵が描かれています。二つ折りにした座布団を枕にしたのび太君の近くには、お皿にのった焼き餅が二つ。のび太君は右手にお餅をつまみながら「のどかなお正月だなあ。今年はいいことがあるそうだ。」とつぶやいています。絵の下には『今年はいいことがあるそうだ』と信じてみよう。』と書かれています。何とものんきなのび太君の姿とセリフ、そして「信じてみよう」という言葉がとても印象的でした。

新型コロナや災害規模の異常気象、外に目を向ければ他国の傍若無人なふるまいなど、去年は暗いニュースが続きました。でも、新しい年のスタートにあたり、「今年こそはいいことがあるに違いない」と信じたいと思います。困難な状況の中だからこそ、明るく前を向いていくことがとても大切なのだとあらためて感じています。

3学期は一年のまとめの時期です。子どもたちにとっては、進学や進級に向けての準備期間です。健康に注意して、充実した学校生活を送ってほしいと思っています。保護者や地域の皆さまには、引き続き教育活動へのご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。